

いのちの電話・ちば

社会福祉法人 千葉いのちの電話 広報誌

2018.6.10／第67号



紫陽花

ある日の朝、近くを散歩しておりますと森の木々は若みどりから深みどりにかわり、足元の野の花は可愛い花を咲かせていました。風は心地よく、足を止めて深呼吸をすると、新しい空気が胸いっぱいに広がります。

まもなく梅雨。たっぷりと水を含み、みずみずしく輝く紫陽花の季節が訪れます。紫陽花の花言葉には「小さな花びらが寄りそつてひとつ美しい花を作りあげている、相手を思いやり寄り添う気持ち」から「団らん」「家族」「平和」という意味があるそうです。私達が住むこの世界もひとつ世界、その中に私達一人ひとりがいて世界が成り立っています。一人ひとりがお互いに支えあい助け合う大切な存在なのです。

自分をちっぽけな一人と思うか、とても大切な一人だと思うかで物の見方、考え方が変わってくるでしょう。今この世界にありがたい命をいただいて、だれかの心を支えている私はとても大切な一人なんだ、そう思い感じながら一日一日を大事に過ごそうと心がけたいと願っています。

その昔、タンボボの綿帽子を飛ばしたり、つづじの花の蜜を吸ったり、四つ葉のクローバーを探したり、白粉花の種を数えたり、道々の自然とのわむれながらの時間がありました。今はもうそんな時間がなかなかありませんが、素足になつて地面に触れたり、土に触れたりすると忘れていた事が思い出され大自然の息吹にエネルギーをいただけることでしよう。

気がつかなかつた自然にふれる気持ちを大事に思う今日この頃です。

29期認定証交付式

2018年3月24日
CIDビルセミナー室
認定者11名



友田直人 理事長



佐藤俊一 研修委員会委員長

29期 認定にあたって

あらゆる“自分”を使って聴いていきたい

本日このような大役を仰せつかり緊張しています。研修担当の方より認定者の挨拶をお願いしたいと言われた時、尻込みしそうな気持ちを奮い立たせ、お引き受けしました。

その直後、研修担当の方から、「昨年挨拶された方はとても素晴らしかった。本当に感動するご挨拶だったのよ」とにこやかにおっしゃられました。

私はその言葉を聞き、目の前のハードルがスーと高くなったのをはっきり感じました。

先輩が短い言葉で私の役割をしっかり伝えてくださいました。

ありのままの私の率直な想いを伝えればいいのだ、それこそが研修で培ったものだと観念し、若干の開き直りと共に今、ここに立っています。これまでの研修を通して感じた事、これから電話相談員としての意欲や想いをお話してみます。

聞く力がまだ未熟な私、ようやく繋がった電話を下

さった方の言葉を一心に聴いてまいります。言葉がこぼれ落ちないように、懸命に手のひらで受け止めながら。研修で学んだ「見えないものの内にある、見えないものを見ようとする」かすかなものにも気づくことができる私になりたい、そう願っています。

電話相談を受けるために1年半に及ぶ研修を積んでまいりました。尊敬する研修担当の先輩方と、実に頼もしい同期生と共に相談者の方に関わっていきたいと思います。

研修を通じ気づいた事があります。聞くことは、受け身の行為ではなく、自発的に関わろうとしあらゆる自分を使うことだと思います。自分を認めてこそ他者を受容できるのですから、その力を学ぶのに1年半に及ぶ研修が必要でした。最後になりましたが、研修や実習で出会えました先生方、諸先輩、そして同期の皆様に心から感謝申し上げます。

29期代表

あなたの人生をささえる いのちの電話運動

講師 茨城カウンセリングセンター 副理事長
永原 伸彦氏



今では、いのちの電話は、日本人も知らない人が少なくなり大変有名になってきました。

これは、官民一体になって自殺予防運動の役割をいのちの電話の各センターが、日本の社会を少しでも明るくしようと目立たないが、非常にねばり強い運動のおかげだと思っています。

人生の岐路にたっている、元気を無くしている人に良いアンサーがあるのでしょうか。良き回答を出す事も必要ですが、いのちの電話またはカウンセリングもそうですが、相手にふさわしい答えを出す事、アンサーではなく、レスポンス、(これは応答)。応という字には心が入ってます。応えるということは今の社会に求められていることだと思います。確かに成果を上げる事を否定するつもりはありません。でもそれに突

き進むあまり人間の存在承認がいかに大事なことであるか、いのちの電話相談・自殺予防運動を通じ世の中に発信しているのだと思います。これは現代のもっとも最前線のもっともラジカルな重要な運動だと思っています。

語る事で悩みが解決するわけではないのですが、キャッチャーミットを出し、キャッチングをし応えてくれる人がいる。人生いろいろあるけれど生きてみよう。人間なんとか生きてみようかなという気がする。聞いてもらわないと自分が生きていくストーリーを紡ぎ出せない。その人にとって、腑に落ちるということが実感できる。これからも苦しいことや問題もあるが、こういう自分でもいいかなという想いにたどりつけます。

いろいろ問題はあるが生きていかざるを得ない、自分を引き受け生きてゆく人生後半のテーマとして引き受け直す力を育む。生きることを促進するために自分を引き受け直した時、初めて他者への心の眼差しが共に歩んでいくことういう眼差しになる。こんな精神がいのちの電話の根幹にあると思います。

いのちの電話の最大の特徴はレスポンスの世界を市民同士電話を通じわかちあおうとするボランティア運動とも言えます。いのちの電話のアイデンティティーをしっかりと、活動する。この運動に関わる人達にとって自分の人生に大きなプレゼントをしてくれるものがあるという事に目覚めつつ、日々の作業に取り組んで行く事が必要になります。

―― ◆―― ◆―― ◆――

講演ありがとうございました。

交 流 会



スピリチュアルケアの心 ～いのちを育む力・委ねる力～

2018年2月24日 プラザ菜の花
聖学院大学 窪寺 俊之 氏

このような特別な機会をいただき皆様にお会いできたことを心から嬉しく存じます。また、沢山の方々がお集まりくださりありがとうございます。今日の講演のテーマは3つあります。「いのち」「スピリチュアル」「育む・委ねる」です。それぞれ順序に従ってお話ししていきます。

I. いのちとは何か

最初に「いのち」について考えてみましょう。と言いますのは、今日「いのち」が軽視されているように思えて仕方がないからです。「いのち」が粗末に扱われていて、母親が自分の子供に暴力をふるって殺してしまう事件が起きています。現代社会は、学力・知識・経済力で人間を計っているのではないかと思えます。学力や知識だけで人間の価値を計る社会は誤っているのではないかと思えます。私たち自身がその価値観に染まってしまっていると思えます。その結果、「いのち」の本当の価値や意味が失われています。また、生きることが息苦しく思ったり、生まれてこなかったほうがよかったなどと感じます。重要なのは、その価値観に染まっているということを自覚することです。そういうものが大切ではないと言っているわけではなく、それが絶対的な価値をもたらしていることに気付くことが大切だと思います。気付くことで、もっと自由を獲得できると思います。

II. 本当の力とは何か

私達にとって本当に大切なものは何でしょうか。ひとこと言えば、「人間の価値」を大切にすることです。人が人間として認められることです。人間としての価値を私達はどうやって計るのでしょうか。特に複雑で人間性を押し殺そうとする力の働く社会では、人間として「生きる力」が大切になります。

私たちは、生まれるか生まれないかの選択権をもっていません。しかし、一旦生まれたら自分の人生を生きなくてはなりません。色々な課題を背負いながら生きることを強いられます。だったら生まれてきてよかったと思えるような生き方を私達は考えなければいけない。生を与えられて、生きる責任を負わされている。ならば皆が生まれてきて良かったという社会をつらなければいけない。この世を生きるに価値ある社会にすることが私たちの責任だと思います。

「人間力」ということが言われます。「人間力」は、困難にあった時や苦しい時に一番よく発揮されます。思い掛けない不運、重い困難が襲ってきた時、それから逃げずに立ち向かうには「人間力」が必要です。今日は4つのことを取り上げて見たいと思います。それは、忍耐力、柔軟性、視野の広さ、思考の深さです。「忍耐力」は困難から逃げないこと、我慢して事態が変わるものまで待つことです。「柔軟性」とは、固定した考えをせずにいろいろの可能性を考えたり、自分自身を変える力です。「視野の広さ」は、鳥瞰的に物を見る力です。あるいは、長い時間の中で「今」を見ると、「今の苦しみ」が別のものに見えてきます。最後は、「思考の深さ」は、深く考えることで苦難の中に自分を成長させるものや、自分の人生の深い意味が見えるのです。このような「人間力」が現実の人生には不可欠ですし、それがあると人生はどんなことがやってきて生きていけると言えます。

自分自身の「いのち」を考えることは、同時に他人の「いのち」を考えることだと思います。人の命を知るには、人の心の動きを感じ取る「感性」と「優しさ」と「信頼」が大切だと考

えています。人の苦しみや悲しみを察知する感性があれば、お互いにもっと分かり合えるでしょう。また、「優しさ」は人を包み込んで生かす力です。「信頼」は、人がどんな状況になっても人として尊厳や意志を持っていることを忘れないことです。

「感性」「優しさ」「信頼」があるところには、元気が生まれてきます。色々な問題が起きた時に人間力を持っているか、持っていないかで決定的に違うと思います。そういう人生観・価値観が大切だっていうことをちょっと心に留めておいてください。

III. ケアの心とは何か

「いのちの電話」に電話してこられる方は、いろいろの問題や苦しみを抱えている方だと思います。そのような人の話を聞く時に大切なのは、「ケアの心」（配慮の心、思いやりの心）だと思います。「ケアの心」とは、その人に「寄り添う心」です。これが「答えですよ」と言うのではなくて、その人と「一緒に歩む」ことです。私達は人から相談を受けたりすると、問題を聞いて直ぐに「答え」を言いたい衝動をもします。しかし、経験者ならば、よくご存知のように、こちらの「答え」が相手の心に落ちることはありません。こちらの解答が、その人の心に届かないことが多いのです。そこで自分で考えて答えを見つけ出してもうしかありません。「答え」を言わず、その人が自分が納得する「答え」を自分から見つけるまで黙って待つことです。「あなたがお話ができるのを待っていますよ」というメッセージを伝えることが大切です。私がボールを持っているのではなく相手にいつもボールを渡す。ボールはいつもあなたのほうにある。ケアするときに重要なのはその人がどんなものを求めているかを「聴き取る感性」です。マザーテレサの言葉で「すぐに決めつけはいけません。相手が何をしているかわからても何故しているかはわからないからです」とあります。マザーテレサでもわからないのです。だから何故しているかを分かるまで聴かせてもらうしかないのです。「寄り添う心」が重要だとわかります。

IV. 「きく」ことの大切さ

「寄り添うケア」には、「きく」ことが重要です。「きく」には、5種類の「きく」があります。

- 1 : 聞く (hear)
物事を聞く。物事を整理しながら聞く。相手の話を聞いて情報や知識を聞くことです。
- 2 : 聴く (listen)
心を聴くこと。心をこめて聞く。心で聴くという意味です。もう一つは心の動き、感情、情緒などを聴くことです。具体的には、不安、恐れ、悲しみ、怒り、劣等感、憎しみなどを聴きます。
- 3 : 訊く (ask)
たずねるという意味です。相手から上手に心の思いを引き出す。訊き方はすごく難しく心の中から正直な気持ちを引き出すようにするということです。
- 4 : 利く (sensitive)
聴くには感受性が必要です。感受性が鋭い人は、相手の深い心を理解できます。感受性を磨くことが重要です。
- 5 : 効く (effect)
効くことによってもたらされる効果です。お話をすることによって生まれてくる効果が具体的な例は相手との信頼関係、自己開示などです。

「5種類のきく」を心に留めて、自分は今どこできいているのか、耳で聞いているのか、心で聴いているのか、私の感性はちゃんと機能しているか、会話することで信頼関係が生まれてきているかどうかを常に自分に問いかけながらきます。

V. スピリチュアルの世界

人は人の間に生きています。人間関係には「私とあなた」「私と私」「私と神仏」という関係があります。「私と私」とは、「私と両親や子供」との関係です。その中で喜びや失望を経験しています。でも、もっと難しいのは「私」と「私」という関係です。私は中学一年生を落第したことがあります。ですから自分の中に深い劣等感を持っています。当時、私はみんなから取り残されたという不安で生きることに自信がありませんでした。この自分でいいと思えるように自己肯定し自己受容することは非常に難しいことです。私達は人（あなた）との関係があるように、自分との関係があります。そしてそれがうまくいかないと、人との関係もうまくいかない。さらに、もう一つは「私と神仏」という関係です。神仏と言わなくとも「宇宙の法則」とか「自分を越えたもの」という言い方があります。たとえばクリスチャンだったら神様ですが、仏教徒なら阿弥陀仏などというかもしれません。「自分を超えた大きなもの」が私の人生にかかわってくださっているという感覚。人間同士の関係が「水平の関係」だとすると、神仏の関係は「垂直の関係」です。私達は普段、水平の関係で生きている。しかし、困ったときや自分の人生の危機になったときに、「縦の関係」が非常に重要になってきます。神や仏は目に見えませんが、私達が危機的な状況になった時、神仏に助けを求める。自分の力が尽きてどうにもならなくなると、人は神仏に助けを求めて生きようとします。マザーテレサは「自分で自分を受け入れられない時でも、神様はあなたを受け入れて下さいますよ」と言っています。スピリチュアルというのはそういう神仏や何か大きな存在や世界を認めることです。私達は自分主体で世界を見ていますが、このスピリチュアルの世界を認めることは、私は「見られているという認識」に変わることです。自分の世界だけしか認めないと自分が頑張るしかありません。スピリチュアルの世界を認めることによって、「いのち」は与えられていると認識されます。また、「私は生かされている」という感覚になります。私が全てだったら私は頑張らないといけませんが、生かされていると思えば肩の力が抜け楽になります。そう考えると、不思議なことが起きてきます。もっと言えば、神仏や超越者に「委ね」て期待していればいいのです。本当に大切なものは見えないのでですが、全ての「いのち」はそこから生まれていると考えて「委ねる」ことで人は新しい世界に生き始めるのです。そういう生き方がスピリチュアルな世界に生きるということです。

VI. スピリチュアルな世界を感じる

ここで皆様のよくご存知の詩を二つ紹介したいと思います。ここにはスピリチュアルな世界が非常に美しく表現されています。スピリチュアルな作品だからこそ、人の魂に触れる慰めがあります。この作品が何故、スピリチュアルな作品なのかがわかると、そこに深い慰めがある理由がわかります。

1) 「千の風になって」

「私のお墓の前で泣かないでください。そこに私はいません。眠ってなんかいません。
千の風に千の風になって、あの大きな空を吹きわたっています。秋には光になって畠にふり注ぐ、冬はダイヤのように、きらめく雪になる。
朝は鳥になって、あなたを目覚めさせる。夜は星になってあなたを見守る。
私のお墓の前で泣かないでください。そこに私はいません。眠ってなんかいません。
千の風に千の風になって、あの大きな空を吹きわたっています。千の風に千の風になって、あの大きな空を吹きわたっています。あの大きな空を吹きわたっています。」 JASRAC 出 1806644-801

寄り添うことの重要さ。自分の役割や出来ないことを知ること。自分自身へのケア。現実を受け入れよう。頑張らなくていい。自分にプラスになることを考えよう。などと力になる言葉をいただき充実した講演会でした。ありがとうございました。

歌詞はすごくスピリチュアルです。

私達は死ぬと焼かれてお墓の中に葬られます。一般的な死後観です。この歌は死後、お墓の中にいないと唱っています。「千の風になって大きな空を吹き渡る」と言います。死んでも千の風になって私たちの間を飛び回っているという死後観です。千の風になって吹き渡っているなんて、なんと自由な死後観ではないでしょうか。お墓に葬られるのは丁重に振舞われるのですが、墓に縛られることです。この歌は正反対な死生観です。「千の風になって」私たちの中にいると言っています。なんて自由な開放された死後感ではないでしょうか。キリスト教でも仏教でもない、しかし、非常に靈的・スピリチュアルではないですか。誰の心にも響く慰めに満ちています。そして死んで大空を飛び回っているだけではなくて仕事をしていると言います。秋には光になって降り注ぎ、冬はダイヤのようにきらめく雪になる。朝は鳥になってあなたを目覚めさせ、夜は星になってあなたを見守る。死後にも人は孤独ではなく、役割がちゃんとある。この死後観は宗教的というよりも非常にスピリチュアルです。私達にとってこのようなスピリチュアルな作品は魂の慰めになります。

2) 金子みすゞの「雪」

「雪」は童謡詩人で26歳のときに自死した金子みすゞの作品です。
「だれも知らない野のはてで 青い小鳥が死にました さむいさむい暮れがたに
そのなきがらを埋めよとて お空は雪をまきました ふかくふかく音もなく
人は知らねど人里の 家もおともにたちました しろいしろいかつぎ（被衣）着て
やがてほのぼのあくる朝 空はみごとに晴れました あおくあおくうつくしく
小さいきれいなたましいの 神さまのお国へゆくみちを ひろくひろくあけようと」

冬の暮れ方に誰も知らない野のはてで青い小鳥が死にました。青い小鳥が死んだことに誰も気付かませんでした。夕方に空から雪が降りました。誰も知らない青い小鳥を葬った人がいたのです。雪が深く深く音も無く小鳥の死骸の上に積もりました。雪の積もった家は小鳥の葬儀に行く婦人の姿でした。かつぎ（被衣）着とは、身分の高い女性が暖かく着るもので葬儀にでるときの服装です。小鳥の葬儀がしめやかに行われたのです。そしてあくる朝、空は見事に晴れました。金子みすゞの飛び抜けたセンスと優しさです。小さいきれいな魂が神様のお国へゆく道を広く広くあけようと、空は晴れたのです。空は青い小鳥の死に心を痛めて魂が神様の国へゆく道を広く開けたのです。すごい優しさです。雪の中に埋もれずに神様の国へ迎え入れられたことが語られていますので読者は救われます。この作品は宗教的ではなくスピリチュアルです。「空」という言葉は神の代名詞として用いられて、垂直の関係が明示されています。

誰の心にも響き救われたという感じがする作品です。「救い」という字は左側に求める書き方と右側に求める感じがします。「掬い上げる」という字は、下から掬い上げるという意味です。自分から立ち上がりたくないほどに倒れても尚、下から掬い上げられるのです。金子みすゞの「雪」は「掬い」のイメージです。亡くなった小さな小鳥の魂を掬い上げてくれる神がいたと言います。「空」が2回使われています。この「空」は、気象学の空ではなく神の代名詞になっています。「いのち」を慈しんでくれる大きな存在が小鳥の魂を救い上げた。

自分で生きようとするのも大切ですが、生かされているのだと考えたらもっと楽になります。生かされているのだったら、その生かされている「いのち」を誰かのために使ったら幸いです。大切なのは自分が与えられた人生をそれぞれが輝かせていく。そして他人の人生も輝かせていくことを願っています。

千葉県いのちの電話協会って？

－4月から会長がかわりました－

この活動を支えて下さっている役員

名誉会長 安田 敬一氏 会長 橋本 妃壽奈氏

副会長 鈴木 和成氏 島田 行信氏 吉成 庸子氏

「千葉県いのちの電話協会」は社会福祉法人千葉いのちの電話の正しい理解と普及、さらに安定した活動を続けるために、1990年後援会として結成されました。

財政的支援を主として次のような活動を行なっています。

- ◇チャリティーコンサートの開催
- ◇活動ボランティアによる手作り作品の販売
- ◇バザーに出店
- ◇イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンの参加
上記収益金は「社会福祉法人 千葉いのちの電話」の日々の活動に使わせて頂いております。



左から 島田副会長、橋本会長、吉成副会長



コンサート情報

第16回 千葉いのちの電話 ふれあいチャリティーコンサート

門戸 竜二 歌と踊り

日 時 2018年6月28日 (木)

開場12:30 開演13:30

(終演予定15:10)

※自由席の方へ：当日12:00より自由
席枠内のご希望のお席を先着順にご用
意します

会 場 千葉市文化センター3F アートホール

入場料 指定席 3,500円 自由席 2,500円



第27回 千葉いのちの電話 チャリティーコンサート

錦織 健

日 時 2018年11月29日 (木) 開場12:45 開演13:30

会 場 千葉市民会館

入場料 S席 5,000円 A席 4,000円 自由席 3,000円

チケット売出し 8月20日 お問い合わせ 043-222-4322

※詳細は事務局にお問い合わせください

2018年度

31期 ボランティア相談員 募集



① ボランティア相談員になっていただくには

1. 年齢20歳以上（2018年4月現在）
2. 基礎研修講座を受講していただき、認定させていただきます。
3. 研修期間 2018年9月～2020年2月（1年6ヶ月）
4. 申込締切 8月13日（月）必着
5. 8月19日（日）13:00～ CID面接

② 2018年7月8日(日) 10:00~
きぼーる 11階 (定員40名)
千葉市社会福祉協議会 活動室
体験談:「いのちの電話にかかわって」
田邊 昭雄 東京情報大学教授
他相談員

③ 2018年7月14日（土）14：00～
船橋保健福祉センター（定員50名）
講演：「くらしの中の傾聴」
講師：田邊 昭雄
東京情報大学教授

④ 2018年7月29日(日) 10:00~
千葉市宮崎公民館(定員15名)
傾聴体験講座

お問い合わせ／申し込みは

社会福祉法人 千葉いのちの電話事務局 月～金 9時～17時 祝日（休）
TEL 043-222-4416
FAX 043-227-6911
メール ii-chiba@chiba-inochi.jp

收支計算書総括表

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：円)

	科 目	予 算 額	決 算 額
収入の部	会費収入	4,100,000	4,214,000
	経常経費補助金収入	3,989,000	3,326,733
	受託金収入	4,260,000	4,073,000
	経常経費寄付金収入	6,000,000	12,290,447
	受取利息配当金収入	3,000	2,399
	その他の収入	1,990,000	1,000,720
	当期収入合計 (A)	20,342,000	24,907,299
支出の部	人件費支出	7,021,000	5,883,385
	事務費支出	12,128,000	10,029,765
	固定資産取得支出		758,916
	修繕積立預金支出	1,000,000	1,000,000
	ボランティア養成積立預金支出		6,000,000
	予備費	193,000	—
	当期支出合計 (B)	20,342,000	23,672,066
	当期収支差額 (A)-(B)	0	1,235,233
	前期未支払資金残高	21,681,840	21,681,840
	当期末支払資金残高	21,681,840	22,917,073

平成29年度も維持会員の皆様やご寄付を下さった多くの方々に支えられ活動を続けることができました。引き続きご支援をよろしくお願ひいたします

インターネット相談

インターネット相談はこちらです。

千葉いのちの電話

検索

対面相談

予約受付・問合せ ◆ 毎週月曜日～金曜日

9:00～17:00（祝祭日除く）

◆ 毎週土曜日 12:00～14:30

◆ 当日の対面もあります

相談日 ◆ 月曜日～土曜日

相談時間・回数 ◆ 1回50分・3回まで

相談料 ◆ 無料ですが、施設管理料として初回に
2,000円いただきます。未成年は無料。

※なお、現在精神的治療を受けている方は、治療者の了承を得てください。

自死遺族のかたの個人面談（予約制）

相談日 ◆ 30年5月18日・9月21日・11月16日・31年1月18日

13:00～17:00

場所 ◆ 佐倉／印旛健康福祉センター

お問い合わせ

043-222-4416

自死遺族支援

社会福祉法人 千葉いのちの電話

わがすまいの会
ひだまり

“どの想いを
わがちあえる
場所があります”

<開催予定>

◆毎月第3土曜日 13:30～15:30

千葉／千葉市中央保健福祉セン
ター11階（きぼーる）

◆奇数月第2日曜日 13:30～15:30

柏／アミュゼ柏

◆30年4月20日・8月17日・12月21日・31年2月15日

13:30～15:30

佐倉／印旛健康福祉センター

お問い合わせ

043-222-4416

一人で悩まず
話してみませんか

相談電話

CID日誌

2017年11月1日～2018年5月31日

[2017年] 11月 6日 蒲安市いのちとこころの支援対策協議会

7日 評議員会

15日 心の健康フェア2017

20日 八千代市健康まちづくりプラン推進委員会

21日 千葉県警相談窓口意見交換

29日 協会チャリティーコンサート（習志野文化ホール）

12月 9日 野の花の家クリスマス会

2日 公開講演会（香山リカ氏）

16日 公開講演会（木下宏明氏）

25日 千葉市自杀対策連絡協議会

27日 市川市自杀対策連絡会議

[2018年] 1月15日 八千代市健康まちづくりプラン推進委員会

17日 千葉県精神保健福祉協議会理事会

20日 千葉県精神保健福祉協議会退院促進セミナー

28日 自死遺族支援合同研修会

2月 5日 千葉県自杀対策連絡会議

7日 蒲安市いのちとこころの支援対策協議会

8日 千葉市自杀対策連絡会議

21日 心のふれあいフェスティバル実行委員会

24日 公開講演会（窪寺俊之氏）

3月14日 理事会

16日 連盟ネット相談運営委員会準備会

17・18日 JR東日本生きる支援のちサポートライン電話相談協力

24日 第29期生認定証交付式

28日 評議員会

4月14日 協会イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン寄贈

18日 心のふれあいフェスティバル実行委員会

18日 千葉県精神保健福祉協議会役員会

21日 インターネット相談運営委員会

5月21日 業務監査

24日 理事会

30日 蒲安市いのちとこころの支援対策協議会

31日 松戸市健康づくり推進会議

千葉いのちの電話は皆様の
あたたかいご支援で
活動を続けています。

個人会員募集

個人維持会費

1口: 2,000円 から

団体会員募集

団体維持会費

1口: 10,000円 から

詳細は下記の事務局まで

TEL 043-222-4416・4322

※千葉いのちの電話の寄付金は税額控除の対象になります。
詳しくはお問い合わせください。

社会福祉法人

千葉いのちの電話

千葉県いのちの電話協会

事務局 〒260-0012 千葉市中央区本町3丁目1-16

TEL.043-222-4416・4322 FAX.043-227-6911

URL <http://www.chiba-inochi.jp/> E-mail ll-chiba@chiba-inochi.jp

発行人 理事長 友田直人
会長 橋本恵壽奈

043-227-3900

おかげ間違いにご注意ください。

